

THE TERRACE HOTELS Sustainability Report 2022

ザ・テラスホテルズが2021年から取り組んでいるCSR(SDGs)活動についてご報告いたします。

ひと — People — ひととひとをつなぐ



SDGsの掲げる17の目標の内、「3. すべての人に健康と福祉を」「8. 働きがいも経済成長も」に関わる取り組みとして、ザ・テラスホテルズではSNSを使っての健康動画の配信や社員の健康課題改善への取り組み、女性管理者の比率向上、社内研修制度の充実、小学生の職場体験などを実施しました。

●健康動画の配信

ザ・テラスクラブ アット プセナでは、専属健康運動指導士によるセルフトレーニング動画をインスタグラムで配信。運動のポイントや効果的でない動き(NG動作)などを紹介し、当ホテルにご滞在の間だけでなく、ご自宅で、あるいはまだご宿泊体験の無い方にもご覧いただき、ご自身で実施していただける動画を投稿することで、気軽に運動を続けられるように促しました。



●「うちなー健康経営宣言」への登録、推進

当社では、沖縄県が取り組む「うちなー健康経営宣言」に登録し、宣言の公表を通じて当社の従業員の健康課題改善への取り組みを行っています。特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対して、ホテルを利用されるお客様、従事する社員すべての感染症予防に取り組んでいます。

●女性の活躍促進

当社全体で女性社員の活躍の場を広げるため、女性管理職の登用を促進しています。

＜ザ・テラスホテルズ女性管理職比率＞

2016年(1%) → 2021年(7.8%) → 2022年(8.3%)

※女性管理職の全国平均比率8.9%(2021年7月調査/帝国データバンクより)

今後も女性管理職比率向上のため、当社全体で女性が就任しやすい環境を整えていきます。

「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」「13. 気候変動に具体的な対策を」に関わる取り組みとして、ザ・テラスホテルズでは排熱利用による温水プールの活用、電動カート使用やEco清掃の促進などによるCO₂削減に取り組んでいます。

●給湯や温水プールへの排熱活用

ザ・ブセナテラスでは給湯や温水プールの運営に自家発電で発生する排熱を活用しています。これにより重油で年間最大140tのCO₂削減につながっています。



●電動カートでの送迎

ザ・テラスホテルズ各ホテルでは、ホテル敷地内のお客様の移動用に電動カートを採用しています。ザ・ブセナテラスでは開業当初より施設内のゲスト送迎に電動カートを使用していますが、2022年は4台を保有。使用している電動カートは1日当たりの走行距離が約16km、4台合計約64kmで、その分のCO₂排出削減につながりました。目安としては年間約3tのCO₂削減を試算しています。また、2022年度に電気自動車用の充電スペースを2基2台分追加し、既存の物と併せて合計6台分の充電スペースを確保しています。



●Eco清掃によるCO₂削減

ザ・テラスホテルズの全ホテルでは、リネン類洗濯による生活時排水の軽減やCO₂削減を目指す「Eco清掃」に取り組んでいます。

環境省が推奨する「エコアクションポイント」に沿って、ベッドメイキングの不要1回につきピローケース・シーツ2枚の洗濯に関わるCO₂削減量を測定すると、1部屋1回当たり1.3kg、2021年度は年間では全ホテルでおよそ19,401kgのCO₂削減が可能になりました。これを杉の木(50年杉・高さ約20～30m)が1年間に吸収固定するCO₂で換算すると、約1,384本分となります。2022年度は年間では全ホテルでおよそ41,914kgのCO₂削減が可能になり、これは杉の木に換算すると約2,993本分となります。



●沖縄県CO₂吸収量認証制度

ザ・ナハテラスでは2021年に同ホテルが進める緑化活動について「沖縄県CO₂吸収量認証制度」の認証をいただきました。次いで2022年にはジ・ウザテラス ビーチクラブ ヴィラズも同認証を拝受しました。

両ホテルとも、ホテル敷地内の緑化活動を積極的に進めており、それらの樹木によるCO₂吸収量が同認証制度の基準に達したものと認められました。



●太陽光発電やエネルギー高効率機器導入

ザ・ナハテラスでは、2014年に太陽光発電と蓄電池施設を取り入れ、30,000～40,000kWhを発電し、ホテル内の空調用電源として活用しています。

また、「おきなわ型省エネ設備等普及事業補助金」を活用して館内照明のLED化を進めており、これによって電気使用量削減量は月12.442kwを達成。1年間では149.304kwの削減につながりました。

自然－Nature－ ひとと自然をつなぐ

当社では開業以来「自然との調和、自然への回帰」をコンセプトに掲げています。このコンセプトの実現に向けて、2021-2022年もさまざまな活動を行いました。

●ビーチ清掃と軽石の除去活動

ザ・ブセナテラス、ザ・テラスクラブアットブセナ、ジ・アッタテラスクラブタワーズ、ジ・ウザテラスビーチクラブヴィラズでは毎年、ホテル前のビーチを多くの皆様に快適にご利用いただけるよう、ビーチクリーン活動を行っています。

2021年には同年8月に発生した小笠原諸島・福徳岡ノ場の海底火山噴火による軽石が沖縄本島周辺にも押し寄せ、県内のビーチ各所も真っ黒に埋め尽くされましたが、各ホテルでは地域の方々や事業所と連携を組み、軽石の除去活動を行いました。



●サンゴ養殖移植助成事業始動

ザ・テラスホテルズでは、沖縄観光コンベンションビューローと共同でブセナ海中公園におけるサンゴ礁再生活動に取り組んでいます。

2022年度にはその活動が「アラムコ沖縄サンゴ礁保全基金・サンゴ養殖移植助成事業」として採択され、本格的に事業を始動。2023年3月、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の指導のもと、ブセナ海中公園のサンゴの生育環境に合わせ、エダコモンサンゴと海草の共生関係を利用した先進的な取り組みであるメッシュポットを利用した植え付けを行いました。これからもサンゴ礁再生に向けて取り組んでいきます。



●ウミガメ・タマンの稚魚放流イベント開催

ジ・ウザテラスビーチクラブヴィラズとザ・ブセナテラスでは沖縄の観光資源でもある自然環境の保全と海洋生物を守り育てること、宿泊客や地元の子供たちに自然に親しむ機会を提供することを目的に毎年、ウミガメの放流、タマン(ハマフエフキダイ)の稚魚の放流イベントを開催しています。

2021年、2022年もジ・ウザテラスビーチクラブヴィラズでは3月のホテル開業記念日にホテルの目の前に広がる宇座海岸で近隣の海で保護されたウミガメを放し、ザ・ブセナテラスでも毎年7月の海の日に合わせて、参加した子供たちがブセナビーチでタマンの稚魚約2000匹／年を放流しました。



このような活動のほかにも、脱プラスチック、ペーパーレス化、フードロスへの取り組み、県産食材や自家農園・菜園で収穫された野菜類の活用などを行うことで、さまざまな環境への配慮、ホテルご宿泊・ご利用のお客様への健康、安全安心に対する取り組みを行っています。

2023年度もこれらの取り組みをますます充実させ、多くの方に心地よく、安心してお寛ぎいただけるリゾートライフをご提案してまいります。